

林業職の業務内容

1. 島根県の林業の現状

【特徴①】 森林資源が豊富です！（森林面積率は全国4位）

- 島根県の森林面積は52万haで、総面積67万haの78%を占めており、民有林の人工林の大半を占めるスギ・ヒノキは72%が利用期を迎えています。
- 島根県では、豊富な森林資源を背景に、全国に先駆けて「伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業に取り組んでいます。

【特徴②】 多様な木材需要とそれを支える原木増産！

- 林業は森林整備など森を育てることから、生産された木材が建物の材料として使用されたり、紙の原料や燃料として利用されるなど、すそ野が広い産業です。
- 県内には全国規模の合板工場や製紙工場、県東部・西部・隠岐にバランスよく木質バイオマス発電所が立地するなど、多様な原木需要があります。

【循環型林業の主な取組】



1. 島根県の林業の現状（つづき）

【課題①】 原木生産量はまだまだ増産の余地があります

- 県では、現状約69万 m^3 の原木生産量を令和12年には80万 m^3 に伸ばすことを目標としています。スギ・ヒノキの人工林が利用期を迎える中、資源量からみるとまだまだ増産の余地があります。

【県の取組】

- これまでの森林施業の集約化や高性能林業機械の導入、林内路網の整備に加え、ICT等の新たな技術の導入により原木生産の生産性向上を図る取組を推進しています。



〈ICT機能付きハーベスタ〉

【課題②】 原木増産に向け林業就業者が不足しています

- 令和12年の原木生産量目標80万 m^3 を達成するためには、少なくとも直近5ヵ年の増加ペース（年間8人程度）を維持する必要があります。

【県の取組】

- 新規林業就業者の確保に向け、高校生の林業学習の充実や、農林大学校林業科による技術力の高い人材の育成に取り組んでいます。また、林業就業者の定着強化に向け、労働条件や就労環境の改善を図る林業事業体の取組を支援しています。



〈高校生への林業学習〉

【課題③】 製材用原木の需要が少ない

- 原木を大量に消費する合板工場や木質バイオマス発電所への原木供給が増加する一方で、最も高値で取引される製材用原木の県内出荷割合は近年12%前後で推移しており、全国平均の40%と比較しても低くなっています。

【県の取組】

- 原木増産に見合った製材用原木の円滑な流通・安定供給を図るため、原木市場の流通機能の強化や、中核的な製材工場の育成、製材工場間の連携強化などの取組を支援しています。



〈製材用丸太の加工〉

2. 業務内容

【行政（本庁勤務等）】

「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の拡大を目指して

島根県の目指す循環型林業を通じて林業・木材産業の成長産業化の実現を図ります。

現在どんな仕事を担当していますか？

原木生産の低コスト化を実現するための政策を企画・立案し、林業事業体が取り組むICT等の新しい技術導入の支援をしています。

島根県職員として働く魅力は？

資源の活用、雇用創出など、島根県にとって重要な産業である「林業」を未来に繋いでいくため、循環型林業の実現という大きな目標に向けて、職員一丸となって仕事をしています。現在抱えている課題解決に取り組み、林業・木材産業の発展に貢献できることは大きなやりがいです。

昨日よりも今日、今日よりも明日、みなさんのよい暮らしにつながればいいなと思います。仕事をしています。

ある1日のスケジュール

- 6:30 ● 起床
- 8:00 ● 通勤
- 8:45 ● 登庁
- 9:00 ● 始業 ※時差出勤（9:00～17:45勤務）
メール確認
- 9:30 ● 補助金交付事務の作業
- 10:30 ● 係内打合せ
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 研修会準備
- 15:00 ● 研修会講師との打合せ
- 17:00 ● 書類整理
- 17:45 ● 退庁
- 18:30 ● 帰宅



係内打合せ

【普及指導員】

森づくりの最前線で、地域と未来を支える仕事

最前線で活動する林業事業体とともに林業の発展を目指します。

現在どんな仕事を担当していますか？

現在私は林業普及課で、主に林業種苗の技術普及を担当しています。島根県の目指す循環型林業の「植えて」を担う苗木の生産者に対して、苗木の増産・品質向上のための指導、支援を行い、島根県の山がより豊かになるよう取り組んでいます。

島根県職員として働く魅力は？

県民や事業体の「困りごと」に寄り添い、ともに考え、解決に導けることです。私の場合は、生産者の要望や質問を直接伺い、現場の声を聞く機会があります。その声に応え、期待に応えられたときに感じる達成感は、この仕事ならではの大きなやりがいです。

ある1日のスケジュール

- 7:00 ● 起床
- 7:45 ● 通勤
- 8:15 ● 登庁
- 8:30 ● 始業、メール確認
- 9:00 ● 林業種苗生産者の畑巡回、指導
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 畑巡回の記録データ作成
生産指導の準備
- 15:00 ● 高校生への林業教育準備
事前打合せ
- 17:15 ● 退庁
- 18:00 ● 帰宅



苗木生産者への普及指導

【森林土木】

“山”を守り、“人の暮らし”を守る

山の資源を守りつつ、土砂災害などから人々の暮らしを守り、自然と寄り添いながら安心して暮らせる地域づくりを支えます。

現在どんな仕事を担当していますか？

治山・林道課で、治山事業と林道事業の設計・工事を担当しています。

治山事業では、治山ダム等の施設を整備し、山の土砂災害から人家・人命を守ることや、荒廃した森林の機能を向上させ、災害の発生を防ぐための仕事をしています。

林道事業では、林道等の森林内の道路開設により林業を推進するための仕事をしています。

島根県職員として働く魅力は？

本県は森林率が78%の森林県であるため、森林整備や治山事業を通じて地域を守り、住民の安全や暮らしに直接貢献できる大きなやりがいがあります。さらに、豊かな森林資源を活かした林業振興や環境保全にも携わることができます。

また、近年災害が激甚化する中、治山事業への期待が一層高まっており、県民の皆さんの暮らしを直接守るこの仕事に大きな魅力とやりがいを感じています。

ある1日のスケジュール

- 7:00 ● 起床
- 8:00 ● 通勤
- 8:10 ● 登庁
- 8:30 ● 始業、メール確認
- 9:00 ● 現場立会
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 請負業者との打合せ
- 14:00 ● 図面、設計書の作成
- 17:30 ● 退庁
- 17:40 ● 帰宅



現場立会

【研究職】

県産木材の需要拡大を目指して

県産木材の需要拡大のため、木材製品の高付加価値化技術や低コスト木材乾燥技術の確立を目指して試験研究を行っています。

現在どんな仕事を担当していますか？

私の担当は県産木材が住宅をはじめとする建物に利用されるよう木材製品の強度性能に関する試験研究をしています。業務内容は丸太や製材品の強度測定、データ分析、技術資料の作成です。そのほかにも、県内企業の技術指導や農林大学校林業科で木材利用の講義などを行っています。

島根県職員として働く魅力は？

様々な現場で様々な体験ができることです。島根県は非常に広大で隠岐や飯南、松江など地域によって自然環境は多様で生活環境が全く異なっており、常に新しい気持ちで仕事に臨むことができます。職務内容についても林業普及、研究、治山・林道の設計管理など様々な種類があり、自分に合ったキャリアを築いていくことができます。

ある1日のスケジュール

- 7:00 ● 起床
- 8:00 ● 通勤
- 8:15 ● 登庁
- 8:30 ● 始業、試験計画の確認
- 9:30 ● ヒノキ強度試験体の作製
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 農林大学校の講義資料の作成
講義
- 16:30 ● ヒノキ強度試験体の管理
- 17:30 ● 退庁
- 17:45 ● 帰宅



試験体の管理

3. 職員構成

出身大学及び学部

- ・ 島根大学 生物資源科学部、総合理工学部など
- ・ 鳥取大学 農学部
- ・ 東京農工大学 農学部
- ・ 広島大学 総合科学部など
- ・ 九州大学 農学部
- ・ 高知大学 農林海洋科学部、理学部
- ・ 東京農業大学 農学部

年齢構成及び男女比

